KENWOOD

ステレオ インテグレーテッド アンプ

KA-S10

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

B61-1286-00 02 (J) KW 0508

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

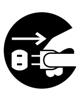
絵表示の例



△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

⚠ 警告

交流100ボルトの電圧で使用する

この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

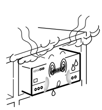
船舶などの直流（DC）電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

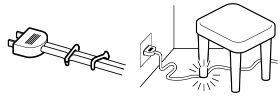
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

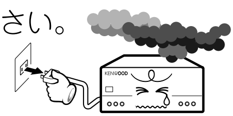
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。



機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

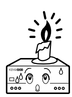
水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。



落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

⚠ 注意

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

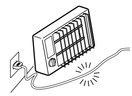
レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

注意

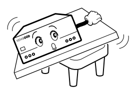
電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

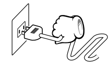
移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



⚠ 注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。

液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

はじめに

本機の特長

3 系統入力端子

音声出力レベルの低いポータブル機器との接続を考慮して、入力感度を高く設定したアナログ入力端子（D.AUDIO（デジタルオーディオ））と通常の据え置き機器用の２系統のアナログ入力端子（CD、AUX）を装備。

サブウーファー出力端子を装備

ピンジャック入力端子を装備したアンプ内蔵サブウーファーを本機に接続することができます。

低音調整 N.B.（ナチュラル ベース） サーキット

スピーカーの設置環境やサイズに合わせて、増幅する中心周波数と増幅レベルの異なる３段階の設定から選択し調整できます。

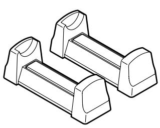
設置性を考慮した、縦置き、横置きレイアウト対応

付属スタンドを使用することで、縦置き設置も可能です。

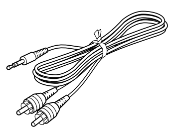
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

スタンド（2 個）



接続コード（1 本）
（ステレオピンプラグ - ステレオミニプラグ）



目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

接続のしかた

機器の接続

⚠ 接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

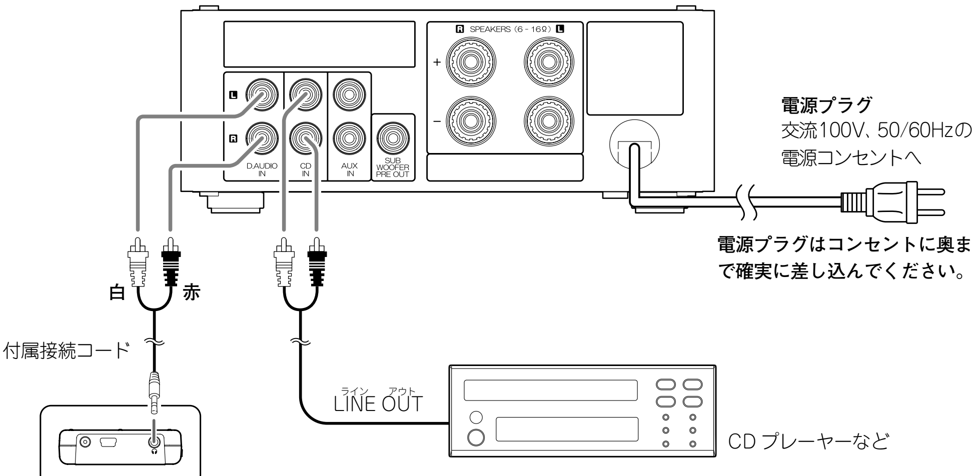
電源スイッチを切っただけでは、機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

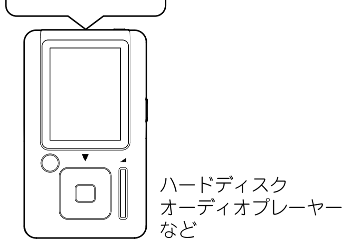
異常が起きた場合、すぐに機器の電源を完全に遮断することができるように、電源プラグは容易に手が届くコンセントに接続してください。

⚠ 注意

機器を設置する際には、機器に十分な放熱をさせるために下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるようなものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　　背面：10cm以上
- ベッド、ソファー、じゅうたんなどの上に機器を設置しないでください。





接続する機器の種類に合わせて、接続する入力端子を選んでください。
D.AUDIO（デジタルオーディオ）入力端子は、ハードディスクプレーヤーなどポータブル機器のヘッドホン出力に対応するために、入力感度が高く設定されています。CDプレーヤーなど据え置き機器のライン出力をこの端子に接続すると、CDやAUX端子に接続したときにくらべて大きな音で再生されます。ただし、音量を上げ過ぎると音がひずむことがあります。

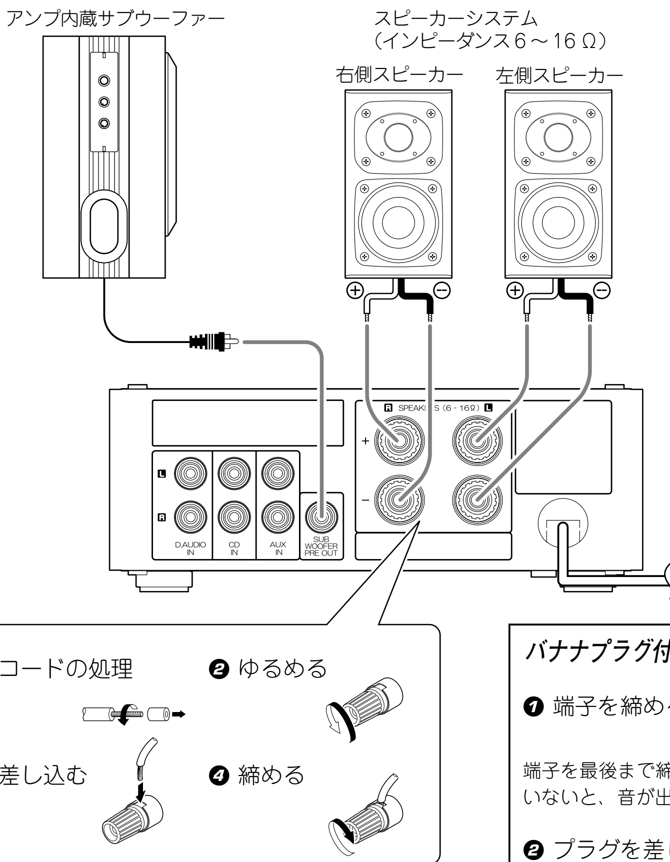
POINT

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、あわせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

スピーカーの接続

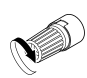
⚠ 接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
スピーカーの芯線が他の端子やケースに触れないようにしてください。



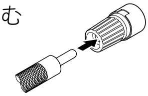
バナナプラグ付きコードを接続する

❶ 端子を締める



端子を最後まで締めてください。締っていないと、音が出ないことがあります

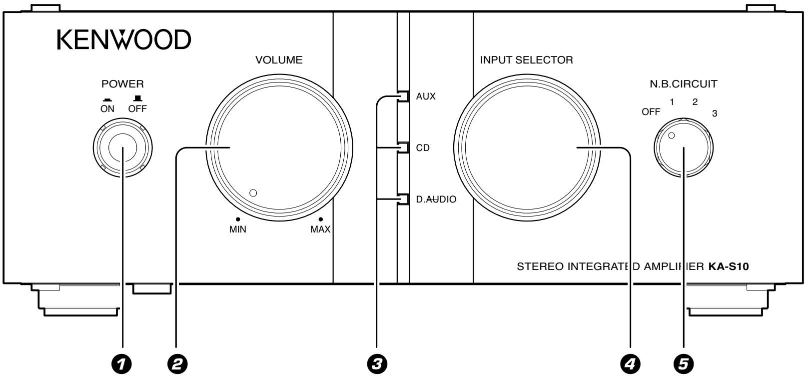
❷ プラグを差し込む



POINT

- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。
- 極性（"＋"と"－"）を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

各部のなまえと働き



❶ POWER スイッチ
電源の ON/OFF を切り換えます。

❷ VOLUME つまみ
右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

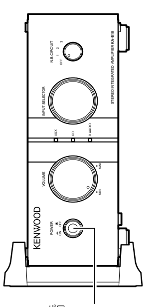
❸ インプットインジケータ
INPUT SELECTORつまみで選択したソースのインジケータが点灯します。
電源が OFF のときは消灯します。

❹ INPUT SELECTOR つまみ
入力ソース（D.AUDIO、CD 、AUX）を選択します。

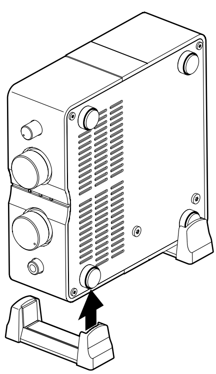
❺ N.B. CIRCUIT つまみ
低音を 3 段階に調整します。
組み合わせるスピーカーやお好みに合わせて切り換えてください。

縦置きで使う

付属のスタンドを取り付けて縦置きでお使いいただけます。



POWER スイッチ



⚠ 注意

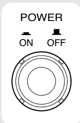
機器を設置する際には、下記のことを必ず守ってください。誤った設置のしかたをすると、落下、転倒によりけがの原因となることがあります。

- 縦置きで使用するときには、必ず付属のスタンドを使用する。
- 上下方向は左図のように、POWERスイッチが下側になるように設置する。

⚠ 注意

機器を設置する際には、機器に十分な放熱をさせるために通風孔をふさがないでください。通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

使いかた



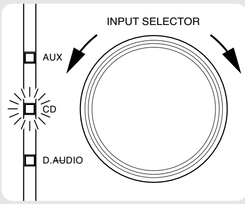
1. 電源をオンにする（オフにする）

POWER スイッチを押して電源を ON にします。

電源が ON のときには、インプットインジケータのいずれかが点灯します。

電源を OFF にするには、もう一度 POWER スイッチを押します。電源が OFF になると、インプットインジケータが消灯します。

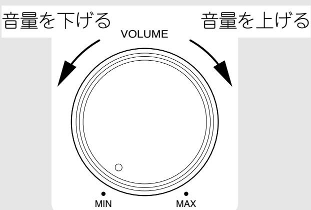
例：CDを選ぶ時



2. 聴きたいソースを選ぶ

INPUT SELECTOR つまみを左右に回して、聴きたいソースを選びます。

選ばれたソースのインジケータが点灯します。



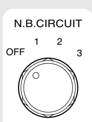
3. 音量を調整する

VOLUME つまみを左右に回して、お好みの音量に調整します。

右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

低音を調整する（N.B. サーキット機能）

必要に応じて、N.B. CIRCUIT つまみを回して低音の強調度合いを調整してください。



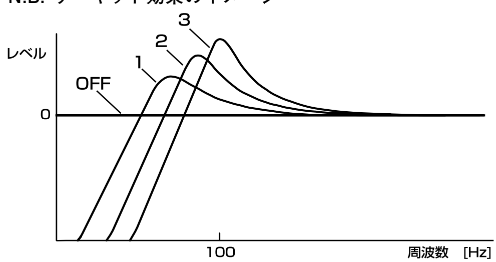
OFF ： 通常の再生をします（N.B. サーキット機能は働きません）。

1 ： 低音（60 Hz 付近）が強調されます。

2 ： 低音（70 Hz 付近）が強調されます。

3 ： 低音（100 Hz 付近）が強調されます。

N.B. サーキット効果のイメージ



POINT

一般的に低音感が不足する小型スピーカーを使用される場合には、N.B. サーキット機能で低音を調整すると効果的です。サブウーファーをお使いの場合は、N.B.サーキットは OFF にしてください。

知っておきましょう

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

メンテナンス

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

症　状	処　置
音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →8 →9 ● 音量を上げる。 →11 ● INPUT SELECTOR（インプット セレクタ） で入力を聴きたいソースに合わせる。 →11
音が出ない 、雑音が混ざる。	● スピーカーの保護回路が働いているかもしれません。下記の"**スピーカー保護回路について**" をみてスピーカーコードのショートを取り除いてください。 →13
スピーカーの片側から音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →8 →9
音が小さい。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →8 ● ポータブル機器のヘッドホン出力を、CDまたはAUX端子に接続している場合は、D.AUDIO（デジタルオーディオ）端子に接続し直す。 →8
音が大きい、音がひずむ。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →8 ● CDプレーヤーなど据え置き機器のライン出力を、D.AUDIO（デジタルオーディオ）端子に接続している場合は、CDまたはAUX端子に接続し直す。 →8

スピーカー保護回路について

誤ってスピーカーコードの＋と－をショートさせた状態で、本機の電源を入れると保護回路が働きます。保護回路が働くと、本機やスピーカーを保護するために音の出力を遮断します。
もし、スピーカーコードがショートしている場合、本機の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてから、スピーカーコードを正しく接続し直しショートを取り除いてください。電源プラグをコンセントに接続して再び電源を入れるとご使用いただける状態となります。

定　格

[アンプ部]

実用最大出力 .... 12 W + 12 W（JEITA 8 Ω）
13 W + 13 W（JEITA 6 Ω）

全高調波ひずみ率
.... 0.03 %（AUX IN, 1 kHz, 6 W, 8 Ω）

N.B.（ナチュラル ベース）サーキット
- N.B. 1 .... +3.0 dB（60 Hz）
- N.B. 2 .... +5.0 dB（70 Hz）
- N.B. 3 .... +7.5 dB（100 Hz）

入力端子（感度／インピーダンス）
- LINE（ライン） (CD,AUX) .... 250 mV / 22 kΩ
- LINE（ライン） (D.AUDIO（デジタルオーディオ）)........................ 140 mV / 48 kΩ

出力端子（感度／インピーダンス）
- SUBWOOFER PREOUT（サブウーファー プリアウト） .... 1.8 V / 2.9 kΩ

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 ..... 交流 100 V, 50 Hz / 60 Hz

定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）...... 28 W

最大外形寸法
- 横置き設置のとき .... 幅 171 mm　高さ 67 mm　奥行 207 mm
- 縦置き設置のとき .... 幅 89 mm　高さ 182 mm　奥行 207 mm

質量（重量） ....2 kg (正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

ご注意

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

保証書 (別途添付)

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、「ケンウッド 全国サービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時は

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　　）　　　-

ケンウッド 全国サービス網

2006年1月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〶007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〶984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〶020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・信越			
さいたまサービスセンター	〶331-0812	さいたま市北区宮原町1-311-1(加茂宮ビル1F)	☎(048) 664-3611
千葉サービスセンター	〶277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〶226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
東京サービスステーション	〶169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
新潟サービスステーション	〶950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〶462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
静岡サービスステーション	〶420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
松本サービスステーション	〶390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〶920-0036	金沢市元菊町21-87(第2濱伍ビル1F)	☎(076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〶532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〶760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〶731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〶815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〶890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〶901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

カスタマーサポートセンター　〶226-8525　横浜市緑区白山1-16-2
☎ (0570) 010-114　ナビダイヤル（一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。）
携帯電話・PHSでのご利用は ☎ (045) 933-5133

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター 電話　(0570) 010-114 (ナビダイヤル)、　携帯電話・PHSでのご利用は (045) 933-5133

〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2　FAX　(045) 933-5553

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または15ページの「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。